

市民活動 サポートセンター通信

第52号

2020.6.30



安曇野市市民活動サポートセンター（安曇野市市民生活部地域づくり課内） 発行

【テーマ】区と市民活動団体との協働

市内全区（83区）は平成31年4月から市民活動サポートセンター登録団体になっています。このことにより、市民活動サポートセンターが区と市民活動団体のつなぎ役となり、区だけでは解決できない課題に取り組むきっかけづくりとすることや、市民活動団体の活躍の場所が広がることを期待されます。

今回は区と市民活動団体とが連携したことでプラスの効果がうまれた事例を探り、連携を進めるヒントについて考えます。

公民館行事での連携(中萱区公民館×NPO 法人安曇野ふるさとづくり応援団)

三郷の中萱区公民館では、例年行っていた行事を見直し、NPO 法人安曇野ふるさとづくり応援団と連携してウォーキングイベントを開催しました。連携に至った背景や当日の様子、連携に対する思いなどをそれぞれの立場からお聞きしました。

中萱区公民館 前保健体育部長 高橋さんにお聞きました



◆ 連携してウォーキングイベントを開催することになった理由・背景

『歩け歩け運動』と銘打った行事を例年9月に開催していました。一昨年はバスで大町市の国営アルプスあづみ野公園に行き、ガイドウォークや木工体験をし、昼食をとって帰る、という内容でした。しかし、猛暑の影響で夏にやっていた行事が秋に食い込んでくるようになり、令和元年度は例年通りの9月に開催することが難しくなりました。開催できるとすると11月だけれど、それでは寒すぎる恐れがあるということで見直しが必要になりました。

そこで別の内容を検討していたところ、安曇野ふるさとづくり応援団を知り、相談をしました。『歩け歩け運動』は元々「皆で歩いて足腰を強くしよう。」という目的で始まったものでした。安曇野ふるさとづくり応援団のふるさとウォッチングが当初の目的により近いと考え、打ち合わせを重ね、開催に至りました。

◆ 当日の様子

当日は区にある20カ所の史跡等を解説する資料をいただき、ガイドを聞きながら歩きました。ウォーキング後はぬかくど（もみ殻を燃料にしたかまど）でお米を炊き、子どもを含め自分たちでおむすびを作って食べました。昔懐かしい道具を使って、炊き立てを食べられるということで、子ども達はもちろん、年配の部員も喜んでいました。



今回は一斉清掃後に集合し、お昼を食べて解散と、コンパクトに半日で実施することができました。参加者アンケートでも満足度が高く、「地元でも知らないことを発見でき、楽しかった。」という声が多く聞かれました。

今回は一斉清掃後に集合し、お昼を食べて解散と、コンパクトに半日で実施することができました。参加者アンケートでも満足度が高く、「地元でも知らないことを発見でき、楽しかった。」という声が多く聞かれました。



説明を聞く参加者

◆ 連携してよかったこと

1 区だけではできないことができた

分かりやすい細かい資料を用意してもらい、普段入ることができない民家を見学することもできました。区で実施するとなると、資料を用意するのも許可を取るのも負担になるため、連携したからこそ実現した内容です。また、案内人の知識が豊富で、長年住んでいる参加者でも「知らないことがあった。」と感心していました。

2 保健体育部員（公民館の係）の負担軽減

部員の負担が大幅に減りました。昨年までですと、秋の観光シーズンにバスを手配することがまず大変で費用が掛かりますし、当日は部員が慣れない土地で買い出しのために走り回り、お弁当などを用意していました。今回、部員は買い出しと昼食の準備を担当しましたが、前日までの準備は特になく、慣れた地元での買い出しのみで済みました。また、検討段階で詳しい内容に触れたこと、そして当日来て手伝えはよい、という状態になるよう工夫したおかげか、部員の参加率が普段よりも高くなりました。

部員が大変だと「公民館活動はやりたくない。」「係が回ってくるのが嫌だから区に入りたくない。」といったことに繋がってしまいます。可能な部分はなるべく外部の力を借り、負担を減らす方がいいと考えています。



NPO 法人 安曇野ふるさとづくり応援団 宮崎さんにお聞きしました

◆ 区と連携しての開催

過去に団体で作成した『ふるさとウォッチングマップ』の中に中萱区付近を対象としたものがあつたため、その内容をリメイクして開催しました。当初はウォーキングができればいいという声もありましたが、ひたすら歩くだけではもったいないということで、ウォーキングメインのコースと、ガイド等を聞いたりしながらゆっくり歩く2コースを用意しました。

安曇野で昔使われていたぬかくどの文化を継承していきたいという思いもあり、ご飯を炊いて昼食にしました。

◆ 区と連携して良かったこと・区との連携に対する思い

現在年に2回程度ふるさとウォッチングを開催していますが、参加者は開催地域に住んでいる人ではないことも多く、ガイド側も地元ではない人が案内をしています。本当は地元の人が地元について伝えることが理想です。そのため、ふるさとづくり応援団でノウハウを提供しつつその地域のことをよく知る皆さんの知識や経験をミックスし、連携して開催していければと考えています。今回はそのきっかけとなりました。

地元の方には「もっとここを知りたい。」とか「これを発信したい。」といった思いがあると思います。今はこちらで用意したマップで開催していますが、ゆくゆくは区(地区)ごとオーダーメイドでできたらいいと思います。すぐには難しいですが、区が主体となることで区の活動の活性化に繋がればと考えています。

◆ ふるさとウォッチングに対する思い

ただのウォーキングで終わるのではなく、ふるさとウォッチングを通じて地域のことを知り、再発見し、魅力に気づいてもらうこと、そしてそれに留まらず地域のために活動する人を増やすことが目標です。

NPO 法人ふるさとづくり応援団とは？

I ターン者と地域住民が交流を深め、地域の自然・歴史・文化・風土を大切にしたいふるさとづくりに取り組んでいます。

【活動例】

▶地域の魅力再発見

(ふるさとウォッチング/安曇野さんぽ)

▶地域ガイド育成(案内人の教室)

・安曇野をフィールドに地域の魅力を知り伝え方を学ぶ講座。松本や大町でも実施中

▶景観まちづくり活動(安曇野ふるさと遺産)

・歴史文化景観のまとまりを遺産として認定し、そのエリアの市民活動団体と協働で保全活用するしくみ

▶移住支援



ふるさとウォッチングとは？


・地域の魅力を再発見するガイド付きウォーキングです。単なるウォーキングではなく、安曇野の自然、歴史、文化等を学びながら半日かけてゆっくり歩き、散策後はぬかくどで炊いたおむすびを食べて交流を深めます。



市民活動団体と区が連携することでお互いにメリットになっている事例を知ることができました。区に関わる方で「自分の区でも検討してみたい…」、「こんなことできる団体はないだろうか?」といったことを少しでも思った方、市民活動に関わる方で「区と連携してこんなことができないかな?」という思いを持った方、ぜひ気軽に市民活動サポートセンターへご連絡ください。つなぎ役を務めます!

令和2年度市民活動サポーターを紹介します！


市民活動を盛り上げるために、市民活動に取り組む皆さんの所へ訪れ取材するなど、市民活動サポートセンターの行う事業をサポートしていただきます。

今泉 一さん 

▶意気込み
センターの活動内容を市民に伝え、一人でもまちづくりに参画する様にしたい。

▶好きなこと
テニス、山登り、スキー


▶市内の好きな場所
光城山、長峰山

西澤 克昌さん 

▶意気込み
皆様の悩み事をその人なりに気楽にできる様共に考え、やりたいと望んだ夢や希望が叶うよう応援できたらと思っています。

▶好きなこと
自転車で安曇野市内を回ること


▶市内の好きな場所
自宅から見える常念岳

林 孝彦さん 

▶意気込み
市民の方々が気軽に地域の集いや市民活動に参加できるようにサポーターとして支援したい。

▶好きなこと
博物・芸術鑑賞、茶道、書道


▶市内の好きな場所
わさび畑、常念山脈、烏川溪谷

布山 清保さん 

▶意気込み
地域で活躍する皆様の願いや思い、活動の工夫、成果等を取材し、その魅力をお伝えします。

▶好きなこと
歩く（公民館七日市場コース）


▶市内の好きな場所
桜、睡蓮などが美しい室山の池

水谷 元美さん 

▶意気込み
新型コロナ時代、サポーターには柔軟な思考が必要。新しい時代における市民活動や協働の姿を探っていきたい。

▶好きなこと
構想しビジュアライズすること

▶市内の好きな場所
北アルプスを背にした里山

山田 百合さん 

▶意気込み
取材を通じ、登録団体さんの良かった事・ご苦労などを共有し、団体さん同士の横の繋がりができるよう頑張りたいです。

▶好きなこと
読書

▶市内の好きな場所
安曇野市全て好きです。

新規登録団体紹介



NPO法人 社会生活サポートチーム 風を詠む

- ・代表 玉井 英男
- ・連絡先 71-3277

加齢や疾病となってもご本人及びご家族が社会の一員として自らの暮らし方を決めていけるようサポートすることを目的に次の事業に取り組んでいます。

- ・介護保険事業所として特徴ある専門性を、必要とされるすべての方に提供します。
- ・区(地域)にある事業所として、災害時の連携及び防災備品を含め提供する役割に努めます。
- ・エンディングノート作りを題材に相続の専門家を講師に迎えた講演会を継続開催し、お互いのできることからまちづくりのご縁を繋げていきます。

(成相区コミュニティセンターにて偶数月の第3水曜日19時から開催中)

インターバル速歩安曇野同好会

- ・代表 高橋正子
- ・連絡先 090-4460-5133

インターバル速歩は、ゆっくり歩き3分とやや強固の速歩き3分を交互に繰り返し、緩急をつけた歩きで体力アップを図るものです。

毎月第3金曜日に穂高総合体育館で、講師の先生を招いて筋トレ、ストレッチ、インターバル速歩を行っています。

活動を通じて筋力、体力アップを目指しています。11月に無料体験会を予定しています。(※新型コロナウイルスの感染状況で変更の可能性あり)

興味のある方はぜひお声がけください。

学習支援センター実帰舎

- ・代表 家田 典和
- ・連絡先 57-6203

病弱・不登校・発達障害の就学年齢のお子さんとその保護者を対象に、家庭内学習の方法を学習支援センター実帰舎が教えることで、不登校の一番の心配事である、“勉強の遅れ”を最小限にすることを目的とします。

家庭内学習とテレビ電話による“遠隔授業”により、“母親と子供との対話”を大切に勉強の環境づくりに主眼を置きます。





情報コーナー

*定員が設けられているイベント等は、必ず主催者にお申込みまたはお問い合わせください。

つながりひろがる地域づくり事業補助金追加募集

市民活動団体が地域と共に自らの地域の課題を解決するために取り組む事業を支援します。新型コロナウイルスに関連した新たな支援活動などにも活用いただけます。

- ◆補助対象 市内に活動の拠点を置き、5人以上の市民が構成員である団体
- ◆補助金額 対象経費の2分の1(上限20万円)
- ◆申請方法 7月31日(金)までに申請書に必要事項を記載の上、団体の規約・役員名簿・予算積算資料を添付し提出。
- ◆問い合わせ 地域づくり課 電話：71-2494【受付時間 平日 8:30~17:15】

心と身体の発達を学ぶ講座「こちょ会」【要申込】

子育て中のお母さんや子育てに関心のある方が、実践を通して心と身体の発達について学び合う講座です。ふれあい遊びやわらべ歌を親子で楽しみます。

- ◆日時 7月27日(月)※いずれかの時間を選択
(A)9:30~10:20 (B)10:35~11:25
- ◆場所 豊科ささえあいセンターにじ
- ◆参加費 300円
- ◆問い合わせ こちょこちょの会 赤沼さん
電話：090-4153-9168

※他に保育に関する事例を取り上げ、講師を招いて学ぶ、自主勉強会も開催予定

消費者団体等活動支援事業補助金

- ◆助成対象 県内に事務所を有する団体
- ◆助成内容 次のいずれかに該当する消費者問題に関する学習会・講演会、啓発活動等
(1)自立した消費者の育成や消費者被害の未然防止に関する事業
(2)食の安全・安心に関する事業
(3)その他地域全体の対応力向上が図られる事業
- ◆助成期間 令和2年度
- ◆助成金額 対象経費の10分の10以内(上限30万円)
- ◆募集期間 7月31日(金)
- ◆運営団体 長野県(県民文化部くらし安全消費生活課)

ガーデンファームライフ ガイドブック発行

令和2年度市民協働事業提案制度実施事業「花と緑あふれるまちづくり推進のための安曇野を特徴づける『せんぜ畑』を活かした暮らし啓発事業」の一環として、ガーデンファームを紹介するガイドブックを発行しました。会員それぞれのガーデンの様子が写真や地図と共に掲載されています。また、事前に連絡することで実際に鑑賞することができます。

- ◆配布場所 市民活動サポートセンター、各支所など
- ◆問い合わせ Garden Farm Life of Azumino
杉下さん 090-1037-5727

キフプログラム助成2020

- ◆助成対象 資金調達(会員獲得、寄付獲得に関する活動)を継続的に行っている団体
- ◆助成内容
①寄付チラシ(郵便振込書が付いたもの)および窓付封筒の作成
②ファンドレイザーによるファンドレイジングサポート(計画づくりのアドバイス等)
- ◆助成期間 令和2年8月~令和3年1月
- ◆助成金額 上限38万円
- ◆募集期間 7月6日(月)~7月17日(金)
- ◆運営団体 株式会社ガハハ



編集担当のつぶやき

6月はみっぴー工房「木のおもちゃ教室」、いいな安曇野花サロン「マルシェ」、岩原の自然と文化を守る会「オオルリジミの食草クララを市内全域に植える活動」、Garden Farm Life of Azuminoで取り組まれているガーデンの、4つの活動におじゃましました。

どの団体も新型コロナウイルス対策を取りつつの活動でしたが、そんな中でもできること、そして今だからこそのことを考え、工夫して活動されており、元気をもらいました。遠出がしづらい今こそ、市内や近場でのイベントなどに参加し、地元の魅力を知っていきなと思いました。

◆◆◆イベント情報をお寄せください◆◆◆

- ・市民活動サポートセンター通信やホームページで、皆さんの活動やイベントの広報をします。参加者や会員の募集を呼び掛けることができますので、お気軽に市民活動サポートセンターにご連絡ください。
- ・イベントや催しに、市民活動サポートセンター職員や市民活動サポーターが取材に伺う場合もあります。活動のPRにご活用ください。

安曇野市市民活動サポートセンター

住所 〒399-8281 安曇野市豊科6000番地
安曇野市役所本庁舎2階 地域づくり課窓口
電話 0263-71-2013 FAX 0263-72-3176
メール kururin@city.azumino.nagano.jp

開庁時間 午前8時30分~午後5時15分
休業日 毎週土・日曜日、祝日
年末年始 12月29日~1月3日